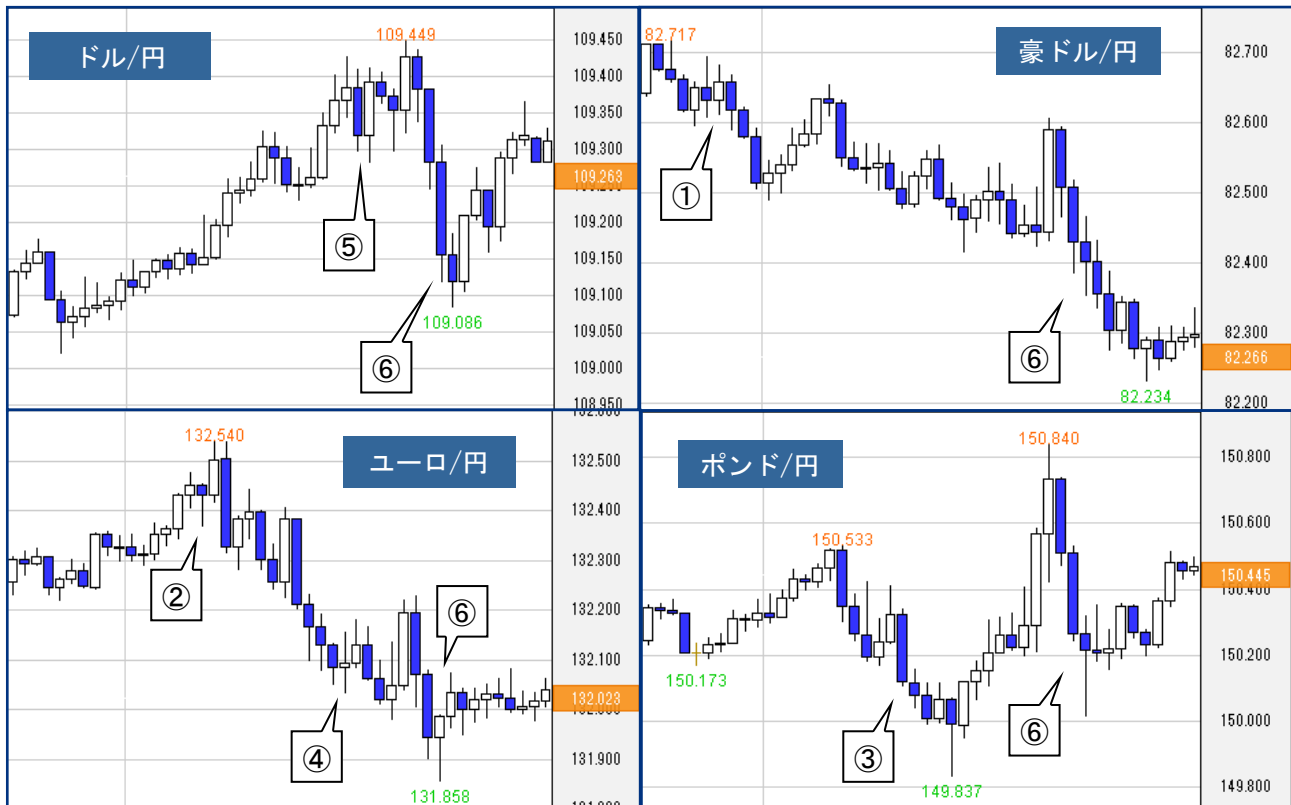


5月1日(火)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

注目の5月相場入り

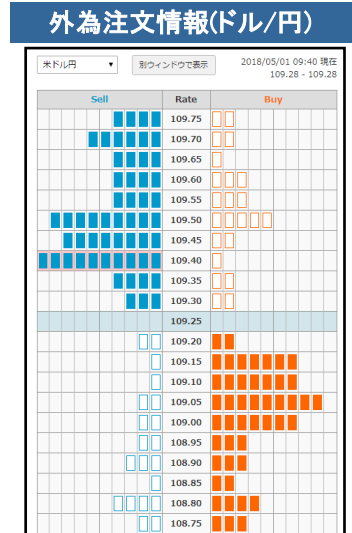
4月30日(月)の為替相場



期間：4月30日(月)午前7時00分～5月1日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国4月製造業PMIは51.4とほぼ予想どおりの結果となった。日本と中国が休日のため参加者が限られた事もあって、市場は無反応だった。
- ② 独3月小売売上高指数が前月比-0.6%と予想(+0.8%)に反して減少。なお、昨年12月から4カ月連続の減少となった。
- ③ ラッド英内相が29日に辞任した事を受けて欧州市場でポンドが下落。ラッド内相は、第2次大戦後、ジャマイカなど旧植民地から渡英してきた移民の子供らを不法移民と決めつけ、国外退去を通告するなどした不祥事の責任を取った。ラッド氏はメイ英首相の信頼が厚かっただけに、政権運営の痛手になるとの見方が広がった。
- ④ 独4月消費者物価指数・速報値は前年比+1.6%と予想(+1.5%)を上回ったが伸びは前回と同じであった。
- ⑤ 米3月個人消費支出(PCE)は前月比+0.4%となり予想と一致。米連邦準備制度理事会(FRB)がインフレ指標として重視する米3月コアPCEデフレーターは前年比+1.9%と、こちらも予想どおりに伸びた。
- ⑥ 一時180ドル超上昇していたNYダウ平均が値を保てずにマイナス圏へ反落する中、ドル/円やクロス円に下落圧力がかかった。

4月30日(月)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
休場	5982.732 △29.086	休場	7509.30 △7.09	12612.11 △31.24
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24163.15 ▼148.04	休場	2.769% ▼0.054	1.418% ▼0.026	0.559% ▼0.012
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.4879% △0.0042	2.9531% ▼0.0037	68.57 △0.47	1319.20 ▼4.20	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.700-109.800	131.400-132.600	81.700-82.900	149.700-151.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は109円台前半で底堅く推移。米長期金利の低下などから、109.50円台の月初来高値を更新する事はできなかったが、月末のロンドンフィクシングに向けたドル買い観測などが支えとなった。なお、4月のドル/円は終値ベースで約3円上昇しており、5月相場のスタートが注目される。本日は米4月ISM製造業景況指数がポイントとなりそうだ。市場予想は58.4となっており、2月に記録した約14年ぶりの高水準から2カ月連続で低下する見込みとなっている。ISM製造業景況指数は米国景気に先行する傾向があるとされるだけに、予想以上に低下した場合は、株式市場などへの影響も懸念される。もともと本日は、中国、独、仏など休日の国も多く、明日には米連邦公開市場委員会(FOMC)の声明発表を控えている。米4月ISM製造業景況指数が予想どおりに近い結果であれば市場全体の動意は限られるだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
5/1(火)	10:10		(日) 日銀国債買い入れオペ(5-10年)	-	-
	10:30	◎	(豪) RBAキャシュターゲット	1.50%	1.50%
	17:30	○	(英) 4月製造業PMI	55.1	54.8
	17:30		(英) 3月消費者信用残高	+16億GBP	+14億GBP
	18:50	○	(豪) ロウRBA総裁、講演	-	-
	23:00	◎	(米) 4月ISM製造業景況指数	59.3	58.4
	23:00		(米) 3月建設支出(前月比)	+0.1%	+0.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。